<初等教育学科専門科目・学部共通科目>履修系統図

【児童教育コース】

STEP1　STEP2　STEP3

基礎理論

- 道徳教育(小)(1)
- 教職論(小)(1)
- 教育課程論(小)(2)
- 特別活動(小)(2)
- 教育の制度と経営(幼・小)(1)
- 教育原理(1)
- 教育方法(2)
- 教育心理学(1)
- 統計データの理解と活用(1)
- 家庭の教育・地域の教育(1-4)
- 学校と発達(1-4)

研究

- キャリア研究(2)
- 初等教育基礎演習A(2)
- 初等教育基礎演習B(2)
- 初等教育演習(3)
- 卒業研究(4)

教育内容・方法

- 教育体験Ⅰ(1)
- 教育体験ⅡA(2)
- 教育体験ⅡB(2)
- 教育体験ⅢA(3)
- 教育体験ⅢB(3)
- 教育実習(幼・小)(3,4)
- 教育実習(幼・小)
- 事前事後指導(3)
- 国語(1)
- 社会(1)
- 算数(1)
- 理科(2)
- 生活(1)
- 音楽(1)
- 図画工作(1)
- 体育(1)
- 家庭(2)
- 小学校外国語(英語)(2)
- 初等国語科指導法(2)
- 初等社会科指導法(2)
- 初等算数科指導法(1)
- 初等理科指導法(2)
- 初等生活科指導法(1)
- 初等音楽科指導法(2)
- 初等図画工作科指導法(2)
- 初等体育科指導法(2)
- 初等家庭科指導法(3)
- 初等外国語(英語)指導法(2)
- 総合的な学習の時間の指導法(小)(3)
- 学級経営論(3,4)
- 教職実践演習(小)(4)
- 音楽演習(器楽)(1-4)
- 音楽演習(合唱)(2-4)
- 図画工作演習(造形・描画)(2-4)
- 体育演習(体づくり・体操)(2-4)
- 学習指導法演習(国語)(2)

多様な発達支援

- 生徒指導・進路指導(小)(2)
- 教育相談(幼・小)(3)
- 特別な支援を要する子どもの理解と支援(3)
- 学校臨床心理学(3,4)

隣接・関連領域

- 子どもと福祉(1-4)
- 子どものイメージ(1-4)
- 子どもとファンタジー(1-4)
- 子どもと社会(1-4)
- 子育て支援論(1-4)
- ジェンダーと社会(1-4)
- 学級経営と学校図書館(3,4)
- 学校図書館メディアの構成(3,4)
- 学習指導と学校図書館(3,4)
- 読書と豊かな人間性(3,4)
- 情報メディアの活用(3,4)
- おもちゃ論A(1-4)
- 絵本論A(1-4)
- 絵本論B(1-4)
- 児童文化・子ども論(2-4)
- その他，児童教育コースにはない幼児教育コース科目
- 心理学概論A(1)
- 心理学概論B(1)　発達心理学概論A(2)　発達心理学概論B(2)
- 障害者・障害児心理学(3,4)

（　　）内は配当年次

- コース共通専門科目
- 初等教職科目Ⅰ
- 初等教職科目Ⅱ
- 初等教職科目Ⅲ
- 初等教職科目Ⅳ
- 隣接領域科目
- 学部共通科目

ディプロマ・ポリシーとの対応

- 1
- 2
- 3
- 2・3
- 2・4
- 3・4
- 2・3・4
- 1～4に該当なし

初等教育学科　卒業認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

所定の年限在学し、本学科が定める所定の単位を修得することで、次に揚げるような専門的力量を身につけた学生に学位を授与する。

・時代を超えて普遍的に求められる豊かな人格形成をおこなうために、カトリックの人間観・世界観を理解するための基礎的な能力を身につけている。

・現代社会に求められる外国語学習を通じ、異文化への深い理解のために必須な能力を身につけている。

1　時代を超えて普遍的に求められる深い教養と知性、自己を発見する心を持つ自立した女性になるための基礎的な能力を身につけている。

2　子ども一人一人をかけがえのない存在としてとらえ、その個性を尊重しながら知性と感性をともに育んでいくことができる。

3　子どもをめぐる社会や文化の状況を理解し、子どもの心身の発達を十全に保証する場と機会を創り出そうと努力することができる。

4　人間の生涯発達を見通し、子どもに必要な支援を与えることができ、また保護者にも適切な情報や助言を提供することができる。